



センター通信

〒 123-0873 東京都足立区扇 1-12-20
TEL (03)3856-2728 FAX (03)5939-7880
URL www.wfc.or.jp

第 13 回チャリティー大バザーを終えて



今回も聖心インターナショナルスクールのご好意で、新しくなった体育館を使用させて頂きバザーを開催することができました。数日前からの大型台風の影響を心配しましたが、当日は晴天に恵まれました。広い会場の中、お祭り広場で歓声を上げる子供達や、お買い物をしている方、飲食されている方等、それぞれにお楽しみいただけているようでした。

このバザーは多くの方々に支えられています。ご寄贈品を提供して下さる企業、個人の方を始め、週に一度集まりそのご寄贈品を分類してバザーの準備をするグループ、売り場を一手に引き受け売って下さるグループ、みこころ会始め販売のお手伝いをしてく下さる方々、美味しい食べ物を提供して下さるお店、出店の皆様、100 台以上の机や多くのダンボールを外から運んでくる職員、どの方を欠いてもバザーが成り立ちません。

皆様の力が合わさることでこんなに大きなバザーを開催することができることに毎回感動しています。

ボランティア代表 吉村 加寿代

隔年に 1 度のチャリティー大バザーを、成功裏に終える事ができました。ご来場の皆様は 600 名を越し、ボランティアも 200 名近く、職員も合わせて 1000 名に及ぶ正に大バザーとなりました。

1 年近く、ボランティアと職員が共に準備をして臨んだ当日でしたので、沢山の方々のご来場はとても嬉しかったです。それにも増して、多くの心ある企業や個人の方々のご寄付の品々をお送り下さり、ボランティアの方

達と仕分けをしながら、お忙しい合間をぬってご寄贈下さったことに感謝の気持ちで一杯でした。毎週金曜日に倉庫に主婦数人が集まって値段付けをしています。今回は、インターネットを利用して値段の相場を見てから決めたり、仕分けの方法も工夫したりしてみました。灯油ストーブで暖を取っている内に、扇風機が必要な日々となり、1 週間に 1 度の集いながら時間を作って集まって下さる彼女たちに、ボランティアの心を感じ、感謝しています。また、多くの職員が重い荷物を運んでくれたり、利用者までもが手伝ってくれたのは嬉しい限りでした。



外部の NGO にもお声を掛けて各団体の広報や収益のお手伝いをさせて頂きつつ、私どもにも寄付を頂きました。12 の団体が参加され、手作りの品物を持参されたり、友人にお声を掛けて下さったりと盛り上げて下さいました。

通常業務に加えて、当日、ご来場の皆様方に楽しんで頂こうと職員も準備に努め、それぞれが工夫を凝らしました。ご来場の皆様が、楽しんで頂きながらセンターの事を知って頂き、寄与して下さるようにと聖心バザー後援会として全員が 1 つになって準備を進めた結果でございます。

多くの皆様が気持ちを寄せて下さったことに心より感謝申し上げますと同時に、これからもお心にかけて下さいますよう、よろしく願い申し上げます。

担当理事 荒船 旦子

近況報告

自立援助ホーム 新宿寮のようす

(定員男子 15 名)

新宿寮の新年度が始まりました。進学や自立のために数名の寮生が退寮し、また同時に自立を目指し新しい寮生も入寮してきました。社会の厳しさや困難に立ち向かいながら皆それぞれの自立のため一生懸命頑張っています。



フットサル大会の様子

そんな日々の疲れを解消するため、5月には沢山の行事を行いました。自然の中で時間を忘れて没頭したマス釣り行事、汗を流しながら駆け抜けたフットサル大会、東京の伝統に触れた東京散策行事、全力で笑って遊んだ富士急行事。沢山の笑顔に出会えたゴールデンウィークでした。そして今年の夏は神津島へ行くことが決定しました。また沢山の笑顔に出会えることを楽しみにしています。

自立目指して頑張れ、新宿寮生！

自立援助ホーム 清周寮のようす

(定員女子 15 名)

新年度を迎え、利用者も半数以上が新入所になり、最近やっと仕事も軌道に乗り始めました。この所人気の職種は介護職で4名の利用者が就いています。一人は知的障害児のデイケアサービスに就いています。また介護ヘルパー2級の取得を目指す利用者も増えています。将来に向けてより多くの資格を取得出来るよう職員が全力でサポートしています。また今年、19歳でグラフィックアーツを学べる定時制高校に再入学した利用者がいます。福島から震災後一人で東京に出てきて、仕事と学校の両立に弱音を吐く事もありますが、就職先が専門性ある所にできるとあって頑張ってお通学しております。将来が楽しみです。



自立援助ホーム おうぎ寮のようす

(定員 6 名)



おうぎ寮祭の様子

男子の新宿寮、女子の清周寮に続き、2005年に男女のおうぎ寮が誕生して、10年目になり、4月24日、第3回おうぎ寮祭を開催することができました。おうぎ寮祭は、卒寮生を招待して寮との繋がりをより強いものにするを目的に、平成24年に第1回を開催しました。現在の在寮生は、18歳と19歳ですが、第3回目今年度は、18歳から27歳までの幅広い年齢の卒寮生が参加してくれ、食事や思い出話、ビンゴゲームと楽しい時間を過ごすことができました。今年度の異動で職員の顔ぶれも大きく変わり、新体制での開催でしたが、無事終えることができ、来年に向けより充実した気持ちで望みたいと思います。

共同生活援助 ノエルのようす

(定員 5 名)

前回のセンター通信でお知らせした猫好きの利用者の事を覚えていらっしゃいますか。彼女は、遂に猫と共に一人住まいを始めました。家探しの第一のポイントが猫と一緒に住める部屋というので、不動産屋さんを探して貰いました。

その結果、通常よりも割高にはなりましたが念願の部屋を見つけ、4月から一人暮らしを始めています。時々、職員が様子を見に行ったり話を聞いたりしていますが、今のところ怖い目にはあっておらず気分はルンルンと言う感じです。

細かい口出しをする事はせず、困ったら連絡をして欲しいという距離を取りつつ、見守っています。猫ちゃんも戻ってくるかとは思ったのですが、今のところはおとなしく、彼女が出かけている間は留守番をしているようで、1人と1匹の暮らしが平穏に続くことを願っているこの頃です。

児童養護施設 暁星学園のようす

(定員 36 名)

今年 3 月に高校を卒業した児童は、7 名でした。そのうち 3 名が専門学校に進学して、残りの 4 名は就職をしました。

具体的には、動物好きでトリマーの専門学校、プログラマーを目指してパソコン系専門学校、車掌になりたいと鉄道サービスの専門学校に進学しました。ハンディキャップの多い施設児童には、やはり専門的な職業訓練を受けて、安定した将来を掴み取れるようにと考えて、支援をしています。自治体等もそれを、進学資金という形で支援して下さっています。

就職をした 4 名は、地元足立区の有力建築会社の現場監督見習い、八王子の障害福祉での封入送作業、新宿のオフィスでの事務補助、クリーニング屋で体を動かして働いている児童です。

専門学校に進学した児童や、汗みず流して働いている社会人一年生の児童たち全員が、これからの日本を支える大事な人間です。職員一同、一生懸命にがんばっている卒園生を応援しています。



児童養護施設 あけの星学園のようす

(定員 20 名)

あけの星学園は 3 月末に多くの入退所があり、ゴールデンウィークには宿泊行事で交流を深めました。夏休みはそれぞれが目的を持って過ごしますが、学園でも夏を楽しむ行事を予定しています。

特別支援学校 3 年生の T 君は、まもなく始まる現場実習に向けて頑張っています。中学 2 年で入所した時は小さな身体で精神的にも落ち着かず、職員も生活の安定を促すことで精一杯でした。それが今では家族との面会を重ねて親への理解を深め、気持ちを整理して、外泊交流の調整ができるようになりました。退所後は、通勤寮へ入所し就業の安定を経て、最終的に家庭復帰できるよう職員一丸となって支援していきます。入所から 5 年、いよいよ巣立ちの時を迎えます。



GW 行事の様子

成人式のご報告

毎年恒例となりました青少年福祉センター成人式を、1 月 11 日、日暮里のホテルラングウッドにて開催いたしました。本年は、38 名の卒寮生、卒園生が成人を迎え、当日は仕事などの関係もあり 14 名が晴れ姿で集い、ご来場の皆様に祝福されました。諸般の事情により、一緒に過ごすことができなかつたご家族の方や担当福祉司、当法人に入所する以前の関係者など多くの方が出席され、彼らの凛々しい姿に感激されていました。また、新成人にとっても今までの振り返り、そしてこれから新たな一歩を踏み出す機会となったことと思います。人生の大切な節目でもある成人式をこの様に行えるようになり

ましたのも、ご協力下さいました皆様方のお蔭と、改めて御礼申し上げます。



ご協賛くださいました企業・団体の方々に感謝申し上げます。

NPO 法人タイガーマスク基金 / 社団法人いけばなインターナショナル東京支部 / 国際ソロプチミスト東京 - 青山 / 国際ソロプチミスト東京 - 広尾 / 国際ソロプチミスト東京 - 弥生 / 東京西北ロータリークラブ / イオンエンターテイメント株式会社 / Aib 株式会社 / 株式会社エキップ / エステー株式会社 / 株式会社カタログハウス / 株式会社カネボウ化粧品 / 京王プラザホテル / 株式会社コーサー / ゼブラ株式会社 / 株式会社タカキュー / 株式会社似鳥工務店 / マドラス株式会社 / 株式会社モスフードサービス / 株式会社吉田 / 株式会社ロフト / ホテルラングウッド

敬称略・順不同

平成 25 年度 決算書（資金収支計算書一部抜粋）（単位：円）

	勘定科目	法人合計	本部	新宿寮	清周寮	おうぎ寮	暁星学園	あけの星学園	ノエル
経常収入	行政からの収入	496,679,537	0	40,362,203	46,780,009	23,755,895	242,719,540	139,358,711	3,703,179
	利用料収入	13,744,031	0	4,679,000	4,452,000	2,071,000	0	0	2,542,031
	寄附金収入	14,856,533	10,788,155	2,157,900	407,900	777,900	13,000	295,678	416,000
	雑収入 (受取利息含む)	16,734,865	2,202,335	2,906,830	1,998,216	1,099,196	5,807,474	2,659,705	61,109
	収入計	542,014,966	12,990,490	50,105,933	53,638,125	27,703,991	248,540,014	142,314,094	6,722,319
経常支出	人件費支出	367,496,723	18,517,461	31,364,199	37,287,595	24,797,991	157,366,570	93,715,490	4,447,417
	事務費支出	67,410,987	7,826,181	4,969,297	4,623,807	2,469,110	28,822,851	15,968,883	2,730,858
	事業費支出	83,214,076	0	7,194,270	5,244,038	1,834,941	44,162,856	23,998,105	779,866
	支出計	518,121,786	26,343,642	43,527,766	47,155,440	29,102,042	230,352,277	133,682,478	7,958,141
	経常活動 資金収支差額	23,893,180	-13,353,152	6,578,167	6,482,685	-1,398,051	18,187,737	8,631,616	-1,235,822

長谷場新宿寮 着工のご報告

長谷場新宿寮建設工事の起工式を12月5日、建設予定地である足立区扇の暁星学園園庭にて挙行了ました。当日は晴天に恵まれ、法人関係者をはじめ、建築関係者が出席し工事の安全を祈願しました。

起工式では、当法人の評議員でもあるロバート・ディーターズ神父が聖書を朗読し、工事の安全が守られ、工事に携わる方々が祝福されるように祈りを捧げました。現在、来年1月の竣工を目指し工事が進んでいます。皆様にも引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



長谷場新宿寮建築工事の様子



起工式の様子

保木間地区建て替え工事

昭和49年、故シスター岩下のご尽力により、大林組様からご寄附戴いた清周寮は40年の長き間、女子の自立を見守り続けました。

ここ数年は、老朽化が目立ち始め、近未来的には建て替え構想がありましたが、平成23年の大震災により多少の被害と耐震性の問題が浮上しました。法人としては、子ども達の安全を守るべく、立て替え工事を行うことを決めました。また同時に、同じ敷地内にある暁星学園・ほきまホームも31年を経過しており、同時に立て替えを行うべく関係官庁と協議を開始しました。それぞれの施設には色々な思い出が詰まっていますが、創始者・長谷場夏雄の「竹の塚故郷構想」に向い、新しい歴史を作る第一歩を踏み出したいと考えています。



清周寮・ほきまホーム 模型

編集後記

第13回チャリティー大バザーが、大盛況のうちに終了しました。これも多くの後援者の方々のお陰と改めて御礼申し上げます。今回のバザーでも、多くの卒園生、卒寮生が来場してくれました。中には、前日の搬入まで手伝ってくれた子もいました。卒園、卒寮しても、センターのことを思っ顔を見せにきてくれると、嬉しく励まされます。(小川)